

## 競 技 注 意 事 項

本競技会は 2020 年日本陸上競技連盟競技規則と本大会申し合わせ事項により行う。

### 1. 競技場への入場について

- (1) 入場は出場種目開始の 2 時間前からとし、1 F 正面玄関のみとする。
- (2) 退場はマラソングートと南西ゲートを使用すること。再入場はマラソングートからのみとし、入場は当日配布する**入場許可証**を競技役員に提示すること。
- (3) 無観客競技会として開催するので、正面 2 F メインスタンド入口は開放しない。

### 2. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する。
- (2) バックスタンド後方（東側）の練習走路でのハードル練習は禁止し、競技開始前のハードル設置後に行うこと。
- (3) 競技開始前のトラック練習は、競技開始の 30 分前までとする。  
〔ホームストレート・バックストレート〕  
○1・2 レーン＝長距離周回練習   ○ジョグ＝レーン外  
○3～5 レーン＝コーナーからのスプリント練習   ○6～9 レーン＝直線からのスプリント練習  
**※順番待ち等は、密を避けるように距離を保って行うこと。**
- (4) 競技場でのリレー練習は一切認めない。
- (5) 競技場内はメディシンボールなど、物を投げる練習は禁止する。
- (6) 走高跳、走幅跳、三段跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。
- (7) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。

### 3. 招集について

- (1) 競技開始 2 時間前～1 時間前（棒高跳のみ 1 時間 30 分前）までに「体調管理チェックシート」を屋内練習場内に設ける競技者受付に提出し、アスリートビブスの確認（スパイクなど含む）を受けらることで、一次招集完了とする。  
但し、競技開始の 2 時間前が開門時刻より早いときは、開門時刻以降受け付ける。
- (2) 二次招集は現地招集とし、現地招集時間はトラック競技 15 分前開始 10 分前完了、フィールド競技 50 分前開始 40 分前完了とする。（棒高跳のみ 70 分前開始 60 分前完了とする。）
- (3) 一次招集に遅れた競技者は、欠場するものとして処理する。
- (4) やむを得ず欠場する場合は、できるだけ速やかに 1 F 正面エントランス TIC へ提出する。
- (5) 点呼の代理は認めない。但し、2 種目を同時刻に兼ねて出場する競技者は、「体調管理チェックシート」にすべての種目を記載し、最初の種目の一次招集を完了することで、2 種目の一次招集も兼ねることとする。但し、同時間帯に競技が行われる可能性がある場合は、「多種目同時出場届」を競技者係まで提出すること。

#### 4. リレーのオーダー用紙提出時刻について

開門時刻から組により設定されている競技開始時刻の90分前までにTIC(正面中央エントランス)へ提出のこと。また、顧問のサインが必要なので、事前によく打合せを行うこと。なお、今回は代筆を認めることとする。

#### 5. 番組編成および競技の抽選について

- (1) トラック競技のレーンおよびフィールド競技の試技順は、大阪高体連WEBページのスタートリスト通りとする。
- (2) トラック競技および跳躍競技の決勝については、規則に則り組合せ、レーン順・試技順決定し、WEB上または電光掲示板で発表する。
- (3) トラック競技において、次のラウンドへの進出者を決める時、その最下位で同タイムが出た場合、次の方法で決定する。
  - ①レーンに余裕がある場合、同タイム者は次のラウンド進める。
  - ②レーンに余裕がない場合、写真を拡大し判定する。
  - ③それでも判定できない場合は、抽選を行う。

#### 6. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
- (2) トラック競技では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4×400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (3) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く(少なくとも長さの半分)で、4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (4) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (5) 競歩種目の男子はグループスタートとする。
- (6) 競歩種目では、ラスト1周で男子32分、女子35分を超えると、競技主任が競技を打ち切る。
- (7) 競技エリア内に通信機器(携帯電話等)やビデオ撮影機器(タブレット等)を持ち込んではいならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。  
フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (8) 集団での声援(応援)及び不正な助言行動は自粛すること。
- (9) 投てき競技と棒高跳の滑り止めは、主催者で準備しないので個人で持参すること。
- (10) フィールド競技の試技時間は次のとおりである。

##### 【単独種目】

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

(11) 高さの種目 バーの上げ方について

走高跳	男子	1年	1m65(練) 70 75 80 85 以後 3cm ずつ上げる
		2年・3年	1m70(練) 75 80 85 90 以後 3cm ずつ上げる
	女子	1年	1m30(練) 35 40 45 50 以後 3cm ずつ上げる
		2年・3年	1m35(練) 40 45 50 55 以後 3cm ずつ上げる
棒高跳	男子	1年	2m50(練) 2m60 以降 4m00 まで 20cm ずつ 4m00 以後 10cm ずつ上げる
		2年・3年	2m80(練) 3m00 同 上
	女子	1年	2m00(練) 2m20 以降 10cm ずつ上げる
		2年・3年	2m20(練) 2m40 同 上

決勝で最後の一人となり、優勝者が決まるまでは、上記のバーの上げ方とする。

同記録による1位決定と近畿大会出場権を決定するバーの上げ下げは走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

男子棒高跳の練習は 2m50、2m80、3m20、3m60 を設定する。

女子棒高跳の練習は 2m00、2m40、3m00、3m40 を設定する。

(12) 跳躍種目 競技場所および踏切板位置について

2年男女走幅跳および2年男女三段跳は、1組をAピット（トラック側）、2組をBピット（スタンド側）とする。それ以外は1組（1ピット）実施する。

女子三段跳はバックスタンド前ピットで行う。棒高跳は、第二曲走路外側の北ピットで行う。

踏切位置（砂場から） 男子三段跳 1年…11m 2・3年…12m

女子三段跳 1年…9m 2・3年…10m

(13) 投てき種目について

砲丸投を除き、投てき種目について、次の記録以下の者はベスト記録のみ計測する。ただし、3年はすべて計測する。

種目	男子1年	男子2年	女子1年	女子2年
円盤投	25m	28m	20m	25m
やり投	35m	40m	20m	30m
ハンマー投	20m	30m	15m	20m

7. 競技用具について

やり及びポール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検査受付は、競技開始時刻の90分前より20分間、正面中央エントランスのTICで行う。

8. 抗議について

抗議は総務員に口頭で申告し、総務員が審判長に取りつぐ。

9. 表彰について

(1) 男女別・学年別学校対校を行う。種目得点は1位8点～8位1点とし、1・2年の得点およびリレーの得点を合計して総合優勝を決定する。

(2) リレーを除く種目で1・2年の6位までの入賞者および3年の8位までの入賞者に表彰状を授与する。但し、種目別表彰は行わない。

(3) 大会最終日の表彰式は行わないが、男子総合、女子総合の8位までと男女学年別総合3位までの学校に、表彰状を授与する。

(4) 男女学年別に優秀競技者賞を授与する。但し表彰式は行わない。

(5) 男女総合優勝校の顧問に部長賞を授与する。但し表彰式は行わない。

#### 10. 式典について

- (1) 開始式は、アナウンスと電光掲示（映像）により簡素化して行う。
- (2) 表彰式は、行わない。

#### 11. 近畿ユース大会出場について（1・2年のみ）

- (1) 近畿ユース大会への出場者は各学年、各種目3位までの入賞者とする。ただし、男女走高跳および男女棒高跳は3位までに入賞した3名とする。リレー種目は6位までとする。
- (2) 近畿ユース出場が決定した競技者は、正面ロビーに設置する近畿ユース大会の受付を済ませること。表彰状はその際に授与する。
- (3) リレー種目のチーム（学校）は、近畿ユース大会受付でリレーオーダー用紙を受け取り、オーダーを記入後、顧問のサインを得て申し込みを行うこと。

#### 12. 競技場の使用について

- (1) 競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。
- (2) 声を出しての応援は禁止する。
- (3) 横断幕、ノボリの設置はすべて禁止する。
- (4) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。
  - ①南北の芝スタンド（土盛スタンド）の中段より下
  - ②メインスタンド中段通路より下側およびメインスタンド屋根下
  - ③メインスタンド記者席からフィニッシュ側の4ブロックエリアなお、テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。
- (5) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (6) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。
- (7) 更衣室は6～10名以内で更衣のみの利用とし、マスクを着用して会話しないうこと。使用時間は1人5分以内とする。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

#### 13. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
- (3) 競技中に起こった怪我は、本部の医務室で応急処置のみを行う。
- (4) 記録は、電光掲示板およびWEBページで確認すること。（記録ボードは設置しない）
- (5) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- (6) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (7) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）および大会結果は、新聞および大阪陸上競技協会のWEBサイト（大阪高体連陸上競技専門部）に記載されるが、本大会関係関係以外には一切使用しません。

第75回近畿高等学校陸上競技対校ユース選手権大会について

期 日：9月18日（金）～20日（日）

場 所：大阪市・ヤンマーフィールド長居

総監督：舩津哲史（大塚）